



議会だより

第149号
かわさき

令和5年2月1日発行
福岡県川崎町

[題字] 寺田 逸勢さん (中1・安宅行政区)



みんなが集う
憩いの場

▲アットホームな、お・ふ・ろ

12月 定例会議

- みんなの声 聴かせてください.....
- 補正予算・条例.....
- 6人の議員が登壇 ～一般質問～

2
4
6

川崎町議会ホームページ

川崎町議会 検索

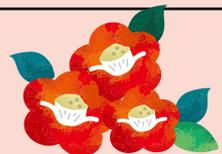
QRコードからもご覧になれます▶

<http://www.gikai-kawasaki.com/>



今年度の議会だよりの表紙は、《大好き 川崎町》がテーマです。
みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください
【お問合わせ】 議会事務局 ☎72-3000 内線(318・319)





みんなの声 聴かせてください!!

\ 毎日利用 /
気持ちが良い



竹内秀子さん

\ 週2、3回利用 /
ここのお湯は
最高です



重森辰夫さん、タカ子さん

小梅ちゃん 利用

\ 週3、4回利用 /
ここのお湯は大変良い
仲の良いメンバーが
いて楽しい



沖島俊男さん

\ 週3回利用 /
広くてとても良い



占部信一さん

[その他]

帰りのふれあいバスの時間がないので、シャワーだけの時がある。ゆっくりつかりたい。10時に来て10時20分のバスに乗るため。次のバスは12時52分

そのほかのご意見

- 広くて気持ち良くてきれい。お湯も良い。(週1回利用)
- ゆったりとつかれて気持ちが良い。(月15回以上利用)
- きれいで、ありがたい。(週2回利用)
- なごやかで良い。(週2回利用)
- きれいで良い。(週2、3回利用)

今回は小梅ちゃんの湯にて
インタビューしました。

小梅ちゃんの湯

(● 問い合わせ先
社会福祉協議会 ☎ 72-5244)

利用料 80歳以上:フリーパス
60歳以上:200円
60歳以下:300円

休館日 月曜日

露天風呂
あり

マッサージ
利用無料



岩口栄子さん

＼週2回利用/
温泉よりも
気持ちが良い

[その他]
町外の人から
羨ましいと
いわれる

[要望]

- ・コロナ禍で利用しにくい
- ・早くカラオケが利用
できたらよい

の湯
者の声



大場美代子さん

＼ほぼ毎日利用/
すごく良い
スタッフが大変良い

- ・憩いの場になるように
頑張っています。
- ・アットホームなお風呂に
していきたい。
- ・常連さんが来ないときは
心配になります。



取材時のスタッフの皆さん

大谷裕美子さん、伊藤成子さん、中村真美さん

補正予算

令和4年度 第5回(10月会議)

● 一般会計 補正額 2億9,207万円

- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種事業…………… 3,581万円
- ◆ 物価の高騰に伴う緊急支援対策事業
 - ・住民税非課税世帯等に対する価格高騰緊急支援給付金…………… 2億3,874万円
(非課税世帯1世帯あたり5万円)
 - ・川崎町立小中学校児童生徒給食費助成金…………… 1,203万円
(令和4年11月から令和5年3月まで給食費無償化)

町独自

令和4年度 第6回(12月定例会議)

● 一般会計 補正額 4億3,692万円

- ◆ 物価の高騰に伴う緊急支援対策事業
 - ・事業者支援金事業…………… 3,125万円
(保育事業者、障がい児者事業者、介護サービス事業者、病院・歯科医療機関)
- ◆ 長期借入金の繰上償還…………… 3億8,606万円

町独自

● 特別会計(国保)

- ◆ 特定健診委託料(令和5年度～令和7年度)の債務負担行為の追加… 1,939万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

川崎町印鑑条例・手数料徴収条例の一部を改正

マイナンバーカードを利用して、印鑑登録証明書や住民票等各種証明書のコンビニ交付が可能に！

コンビニ交付手数料は(令和5年から令和7年3月31日まで)



戸籍に関する証明

400円

印鑑に関する証明

300円

その他の証明

300円

川崎町奨学金給付条例の一部を改正する条例

現在は高校卒業後の進学ニーズが多様化していて、より専門性のある進学にも対応し、進学準備金を5万円、生活費にも1万円増額し、さらなる手厚い支援になるように田川市郡で統一の改正を行うことになりました。



令和3年度

業務実績の評価結果報告

- 住民に対して提供するサービス、
その他の業務の質の向上に関する事項 **A評価**
- 業務運営の改善及び効率化に関する事項 **C評価**
- 財務内容の改善に関する事項 **D評価**

S	特筆すべき進捗状況にある。
A	計画どおり進んでいる。
B	おおむね計画どおり進んでいる。
C	やや遅れている。
D	重大な改善事項がある。

全体評価 **C評価**

当期純利益△8,667万円

新型コロナウイルス
による
医業収益が減少



読みやすい 議会だよりを目指して

広報研修を受講し、8月発行の第147号をクリニックしてもらいました。



- 全体的にグレードアップしている
- 写真や小梅ちゃんイラストが効いている



- 議案等の見出しをわかりやすく
- レイアウト・色づかいは引き続き研究を



タブレット等を使った 議会運営について



1人1台
タブレットをお借りして
説明を受けました



実際にタブレットを使用した本会議の実演もしていただき、とてもわかりやすい研修でした。

川崎町での導入については議論を重ねていきます。

一般質問 よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

町政を
問ひついで!!



ひぐち ひでたか
樋口 秀隆 議員

問 国の補助事業「集落支援員制度」の活用を

答 制度の導入は実施していきたい、要は人材次第

議員 北海道美唄市が取り入れている「集落支援員制度」はとても有効に活用されていたが、それは多くの課題を克服しての実りでした。

美唄市では、以前、お互いに助け合う「互助」と、ともに支え合う「共助」の弱体化が進行していましたが、これをいかに改善していくかから取り組みが始まったということでしたが、これは本町の現況そのものだと感じました。

この制度は専任だと年間430万円、兼任であれば40万円の措置費が出るので財政的にも有利なものです。

この視察研修の成功例で特に感じたのが、集落支援員になった人と職員との連携がとてもうまくいってる、つまり、職員と支援員との連携の成熟度が成否を分けると感じました。

町長の考えを尋ねます。

町長 高齢化も進み地域を支えてくれる若い担い手が減り、行政区単位のコミュニティを維持

するのも難しくなっているのが現実です。その中でこの事例の成功等も調査しながら川崎町に有用な手立てを探していきたいと思っています。

この支援員制度にしろ地域おこし協力隊にしろ、必要性がどこにあったのかをつぶさに検討し、目的をはっきりさせ取り組む、ただどこまで出来るのかは人材次第、川崎町をよく知ってる方を選ぶ必要があり一番の決め手ではないかなと思っています。

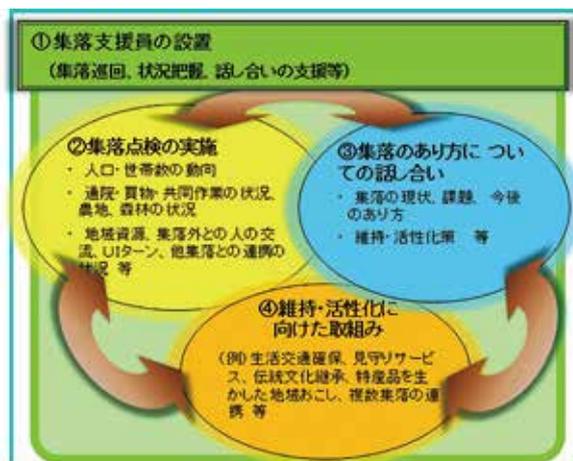
当然、行政とか地域が協力を惜しまないでやらなければこれも成功しないと思います。

問 議会の研修視察には担当職員の随行を

答 検討したい

議員 議会から視察に行くと、担当の職員が居てくれたらいいのに、情報も感覚も共有できるのにと考えます。これは議会の問題ではありますが町長としても後押をしてほしいのですが。

町長 議会から町のほうに要望があれば検討したいと思います。



◀総務省HPより

問 ワンヘルスの取り組みは

答 町の基本計画に網羅している



ちば かよこ
千葉 加代子 議員

議員 人と動物・生態系の健康を一つとみなして守っていくワンヘルス基本条例が令和3年1月施行されました。

本町の取り組みはどうされていますか。

町長 令和3年に鳥インフルエンザの対策マニュアル、健康づくりは、筑波大・タニタヘルスリンクと連携した健康対策運動、環境保護については、基本計画を策定中です。

議員 生涯にわたって心身の健康増進につながる食環境づくりが必要ですが、本町の地産・地消の実態はどうなっていますか。

町長 De・愛での農産物直売、学校給食センターでの農産物使用、プチ・食育館でも町内の農産物を使用しています。

また、観光リンゴ園のリンゴを使った特産品、パン博等でも地元の食材の使用をお願いしています。

議員 食品ロスとコロナ禍での困窮家庭が増えているため、フードドライブに取り組む自治体が増えていますが、本町でも取り組んでいただきたいがどうでしょうか。

町長 現状では体制等が整わないので勉強させていただきたい。

問 GIGAスクールの現状は

答 整備が終わっている状況

議員 国は2023年までに、義務教育段階の小1から中3まで学習用端末を一人1台導入し、通信ネットワークを一体的に整備し、資金面の援助もしていますが、本町の状況はどうなっていますか。

教育長 令和3年3月にタブレットを1200台導入し、電源キャビネットも整備、校内LAN・ネットワーク環境も整備が終わっています。

議員 Wi-Fi環境が整っていない家庭に対し自治体が行うLTEモバイルルーターの整備に助

成金が出ますが、現状はどうされていますか。

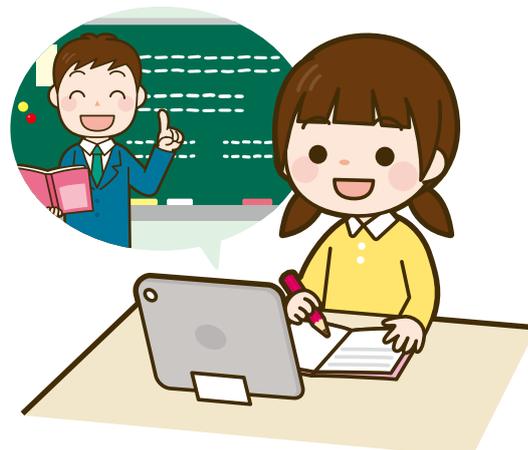
教育長 Wi-Fi環境のあるなしに関わらず、「eライブラリ」というソフトを導入し、オフラインで家庭学習ができるようにしています。

議員 国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の考えを子どもたちに知ってもらうためのESD教育をどのように取り組んでいますか。

教育長 これからの社会を担う子どもたちにSDGsは欠かせないと思いますので、「給食は残さない」やお互いを認め協力しあう公平・公正な態度や資質を育むよう実践しています。

※ESD教育…持続可能な社会の創り手を育む教育

他に育児休業について質問しました。





かわね せつお
川根 節生 議員

問 農業経営収入保険制度の加入促進を

答 農家が任意に加入する保険、補助を行うことがいいのか検討の余地がある

議員 経済の低迷や自然災害・市場価格の下落などにより収入が大きく減少するリスクを補償する制度が農業経営収入保険です。全ての農産物に対応する保険なので収益性の高い新規作物の生産や新規就農者の拡大にもなります。本町ではこの収入保険加入促進に向けた取り組みをどの様に進めていますか。

町長 農業をやっている方々の体制を守っていくことは大変重要なことです。この保険の加入については任意加入だと認識しています。ただ特定の農家だけに補助を行っていくのがいいのか検討の余地があると思うので町としては臨時交付金を全町民に給付しており、そういった交付金を活用して頂きたいと思っています。



問 高齢者の移動手段をどのように確保するのか

答 高齢者の移動手段は大変重要、いろいろな形で考えていきたい

議員 急速な高齢化や高齢のため免許返納者が増えています。子どもと同居世帯が減る中、高齢者の移動手段をどう確保するかが大きな課題となっています。本町のふれあいバス利用の高齢者、特に歩行に不安のある高齢者が乗り降りする時の対応はどの様にされていますか。

町長 ふれあいバスは高齢者に限定していないので、高齢者に限らず体の不自由な方等もおられます。対応としては乗車の際は座席に着くまで発車しない。降車の場合にもバスから離れるまで動かないといった確認をしながら運行をしています。また乗り降りしやすいよう可動式補助ステップ等を備え付けており、現時点ではそのような対応を行っています。

議員 手押し式カート等を持ち込んで乗ろうとした時にドライバーは介助、手助けなどはされないのか。

町長 ふれあいバスは公道を走っていますので、停車したときに運転手がハンドルから手を離し降りて介助をした時、何か支障が起こるか分かりません。運転手は運転中は手を離してはいけないことになっています。現状ではそのような介助等は難しいと考えています。

議員 バスの一部座席を折り畳み式にするとか、取り外すなどカートを置くスペースを作るなどの改善はできませんか。

町長 ふれあいバスを今後、作り直す場合にはその様なことも考えていこうと思っています。現状では十分スペースがありますので空いたスペースを利用して頂きたい。

議員 ふれあいバスを利用しづらい方たちはタクシーを利用するしかないと言われていました。歩くのが困難な方たちにタクシー券、チケットを補助するといった考えはありますか。

町長 今のところそのような形は考えていません。地域の公共交通を担い、実施するためには高齢者の交通手段は大変重要となります。何らかの形で将来に向けて考えていきたい。

問 De・愛、小梅ちゃん空き店舗の活用は

答 新しい経営者を募って現状にあった食の提供を



まつおか ひさよ
松岡 久代 議員

議員 小梅ちゃん空き店舗の活用と遊具設置の構想はどうなっていますか。

町長 新たに経営者を募って現状にあった食の提供をしていき、De・愛の遊具については、近辺にあまりない大型遊具ネットクライミングとベンチ等も設置していこうと思います。

議員 橋掛けは災害に繋がるので中止になったが、高さ13メートルの滑り台はどうなりましたか。

町長 ローラー滑り台を作って、橋の上に掛けてとの思いがありましたが、全体的に考えて行かないとDe・愛地区は発展しないと言う事で、現状は敷地面積を広げながら整備していきます。

De・愛の川の対岸地区にキャンプ場等設置する予定、設置完了で開発計画が終わるのではないかと考えております。

議員 高学年・低学年、どちらを対象とした公園になりますか。



◀De・愛の公園

町長 今ある遊具は、低学年の方が多く、今後設置するネットクライミングは幅広い年齢の方が対象になると思います。

対岸キャンプ場は、青年から大人の方々が利用でき、遊具だけでなく公園も利用いただけると思っております。

議員 公園としては、親子で遊びに来る事が多いため、雑貨屋や駄菓子屋も必要ではないでしょうか。

町長 De・愛は農産物直売が中心となる振興を計画しておりますのでニーズに合ったものが設置出来ると考えております。

議員 川崎町子ども議会第26回定例会が開催され、真崎小学校5年生の報告の中で、De・愛広場へ遊具の設置、休日に友達と遊ぶ場所が増えたことに感謝。また、遊具追加の要望も出ているので早急にイメージ図を伝えて欲しいがいかがでしょうか。

町長 真崎小学校の子ども議会の一般質問は大変素晴らしく、出来る限り子どもたちの意見を聞いた中で事業をやっていきたいと思っています。

議員 真崎の良さを生かして、皆が憩える場所にしていきたい。

川崎町の10年先の事を思っているReborn再生のタオルは、生地も良く宣伝用に販売してはどうですか。

町長 貴重な意見だと思っております、10年先の川崎町を築いていきたいと思っております。

問 桜・芝生公園、De・愛広場のトイレは

答 イベントの際には仮設トイレを設置

議員 桜・芝生公園とDe・愛の公園、公園であれば近場にトイレが必要と思いますがどうなっていますか。

町長 De・愛については、少し遠いがトイレは設置しており、桜・芝生公園に現在トイレはありません。

イベントをする際は、仮設トイレを設置するつもりです。



てしまゆみ
手嶋真由美議員

問 男性トイレに サニタリーボックスを

答 状況を見て考えていく

議員 近年男性トイレにも、サニタリーボックスを置く自治体や商業施設が多くなってきました。

前立腺がんや膀胱がんを患った方や、出血の多い痔など、パット等を使用される方が、使用済みのパットを捨てる場所に困るケースが生じています。男性トイレにも必要ではないでしょうか。今後の設置についての考えをお聞かせください。

町長 衛生上の問題など、いろんな対応が必要になってきます。出血だけではなく、排便のほうもあるわけで、今のところ調査してみましたら、利用している方が少ないような気がします。どうしても必要ということであれば今後状況を見て考えていきたいと思えます。



▲1階多目的トイレ

問 緊急通報装置の整備の見直しを

答 来年度、検討していく

議員 本町の65歳以上の高齢者は6000人を超えており、高齢化率は38%、独居の高齢者が自宅で亡くなられ、数日経って発見される件数も増加しています。高齢者向けの緊急通報装置の申請が、本町でも出来ますが、申請状況と利用状況、今後の課題について尋ねます。

町長 今年度の申請者は1名。利用者は継続で4名です。

固定電話は最近、少なくなってきており、ほぼ携帯電話が主流になってきていると思いますので、町のほうも携帯電話の回線を利用した装置の導入を現在考えているところで、来年度以降進めていきたいと考えています。

議員 本町の現在の利用条件は、65歳以上の独居高齢者で心臓病等の発作の恐れがあり、住民税非課税世帯、固定電話のある方という条件です。緊急通報システムの整備計画と利用条件の見直しを望みます。

町長 見直しの時期に来てますので、議員がご指摘の内容も踏まえて来年度検討していきたいと思っています。

問 AYA世代がん患者の在宅支援を

答 対応を考えていく

議員 我が国では、病気で亡くなる18歳以下の子どもは、年間に2500人を超え、治療が困難な病気を抱える子どもは約14万人以上います。小児がんの患者の中には、自宅で療養生活を送るケースもあり、小児がん患者の多くは、障害の認定を受けることが出来ず、自己負担が大きくなります。福岡県には、小児AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業というのがあり、在宅介護サービスによる利用料を助成していますが、本町でも取り組むことは出来ませんか。

町長 確かに18歳以下の必要とされる方は多いというのも実感しております。その中で県が今度この支援事業を進めていますので、そういった内容もチェックしながら対応は考えていきたいと思えます。

その他、マイナンバーカードについて、券売機（精算機）の設置について、出産子育て応援給付金の活用について尋ねました！

問 田川市郡による 地域公共交通対策は

答 来年度に法改正、 新たな公共交通の策定を



てしま やすのり
手嶋 康徳 議員

議員 令和元年度9月議会及び令和3年度3月議会に続いて3回目の質問となりますが、町民の利便性や費用対効果を考え田川市郡全体での運行の連携と路線の充実・整備に取り組む時期が来ていると思いますがその後の経過を尋ねます。

町長 地域公共交通は大変重要な施策の一つです。法改正が来年度にありますので、ふれあいバスが町内だけしか運行しておらず、多くの住民の方が後藤寺駅や田川病院等に行ってもらいたいという要望がありますので、来年度新しくなった地域公共交通会議で協議をおこなう為に、既に議題に提出しています。町民の要望に沿った、新たな公共交通の策定をおこないたいと思っています。

議員 法改正を期に地域公共交通を広域で取り組みたいということですが、これは喫緊の課題と考えます。どの時期までにするのか、どのようなかたちで取り組むのか、もう少し掘り下げた町長の考えを尋ねます。

町長 新しく策定する計画は、新しい制度のもとで地域公共交通会議の中でやっていきたいと思っています。また、住民のニーズに沿ったかたちでやりたい、もう

一つ考えているのは、買い物難民、介護を必要とされている方々の、買い物を支える仕組みもこの地域交通会議の中で考えています。住民のニーズに合った公共交通機関にしていきたいと考えています。

問 学びっこ教室(家庭学習支援事業)の活性化を

答 早い段階で全校で取り組みます

議員 川崎小学校におきまして平成27年度より実施されました学びっこ教室は、小学校1年生から2年生を対象にしたもので、学習習慣の定着や学習活動を支援し学力の向上を図るために、地域から学習ボランティアを募り実施されています。学力向上に大いに貢献されたと思いますが、現在の活動状況はどうなっていますか。

教育長 学びっこ教室の取り組みは、放課後に低学年の児童の学習を支援する取り組みで、学力の定着に大いに貢献していると考えています。

学習支援ボランティアの皆様の活躍によるところが大きく、大変感謝しています。毎年順調に実施してきた学びっこ教室ですが、新型コロナウイルスの影響により中断や縮小を余儀なくされ、この影響

は現在も続いています。学校によっては感染状況、児童数等の状況が異なりますので開催の時期については受け入れる学校に判断を委ねている状況です。現在のところ、全学校での開催ができていない状況ですが、今後早い段階で全学校が開催できるように取り組みたいと考えています。



問 キャンプ場の 建設計画を尋ねる

答 最適な施設となるように建設計画を進めている

議員 現在、キャンプ場の建設計画を進めているようですが計画の内容・場所・規模・内容・予算等について町長にお尋ねします。

町長 農産物直売所「De・愛」の川を挟んだ対岸沿いにキャンプ施設をつくりたいという構想はありますが、詳しい内容はまだできておりません。現在、最適な施設となるように建設計画を進めています。

委員会レポート

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



総務常任委員会

行政視察を行いました（北海道美唄市・当別町）

先進地視察として北海道へ行政視察に行きました。まず、北海道美唄市で集落支援員制度について行政視察を行いました。集落支援員制度というのは、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材を集落支援員として、地域自治体が委嘱をし、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施し、地域と行政、事業者とのパイプ役（コーディネーター）として活動するものです。

川崎町においても、山間部などの集落については、限界集落となりつつあるので、そうした地域も含め早急になんらかの手を打つべき時期に来ていると思われるので、地域コミュニティの再構築の取り組みなど、この集落支援員制度を活用するののひとつの方法であると感じました。



次に、当別町でふるさと納税の取り組みについて行政視察を行いました。

この町では、ふるさと納税の寄附額がここ数年でかなり伸びており、昨年度の実績として27億円もの寄附額が集まったとのことなので、その要因を調べるため行政視察を行いました。

この町のふるさと納税の寄附額の多さは、ロイズというお菓子がとても人気があり、北海道以外の場所では購入できず、ふるさと納税であれば入手できることが多額の寄附につながっており、またポータルサイトで上位で紹介されるため、さらに寄附額の増加に拍車がかかるという好循環によるものでありました。したがって、寄附額を増やすには、他の市町村にはない人気のある返礼品を作ることが必要であると改めて感じました。



▲研修風景

研修で職員のスキルアップ

職員研修については、福岡県市町村職員研修所において行われる、一般職員に向けた研修や新しく採用された職員、また係長や課長に昇格した職員に向けた研修、さらに役場の業務に必要な専門的な研修などを受けているそうです。また、田川地区人権センター主催の「人権講座」を受けたり、町が独自に行っている研修もあるそうです。

委員会からは、今の川崎町の職員に必要なのは、現在の状況を突破していけるような人間力だと思うので、それを高めるような研修内容をコロナが明けたらどんどん盛り込んでやっていただきたいと要望しました。

時効で消滅させない

税務課から昨年度の調定額、収納額、徴収率、また滞納処分の内容について説明を受けました。

委員会では、時効になる前に、請求をし直すなどの事務処理はおこなっているのかどうか尋ねたところ、預金や給料等の調査をしたり、財産があれば差し押さえをしたりするなど、時効で消滅するようなことにならないように、徴収の努力を行っているということです。



民生文教常任委員会

事故を起こさないためにも

町内では同和保育所、緑保育園、こぼと保育園、川崎保育園、わかば保育園、すみれ保育園、町立幼稚園の7園が送迎バスを運行、どの園も送迎マニュアルを作成し、そのマニュアルに沿った送迎を行っています。

町立幼稚園では万が一車内に取り残された場合は、クラクションを押すように教え、訓練もしているようです。

委員から、安全装置の設置についての質疑があり、執行部からは、事故防止のための通知等が国からきているので、各保育園に安全装置の設置について促していきたいとのことでした。

エンジンを切ったときに車内の最後部でブザーとなり、そこまでいかない止められないような装置もあるようですが、いずれにしても、慣れが一番こわいので、気を引き締めて安全確保に努めていただくようお願いしました。

まだまだ収束がみえません

保育園・幼稚園での新型コロナウイルス対策に関しては、国・県から示された指針を遵守しているようです。

保育園の場合、濃厚接触者の疑いを確認されても保護者は仕事にいており、すぐには迎えにいきませんので、そのようなときは、保護者の了承を得て隔離するという方法をとるなど考えていただき、新型コロナウイルスは収束していませんので、大変な問題ではありますがきちんとした対応をお願いしました。

活用が進んでいます

タブレットを利用した小学校の授業風景のビデオを見せていただき、電子黒板、タブレットともかなり活用されていました。夏休みには5,6年生を対象にタブレットを持ち帰らせ、冬休みには3,4年生まで広げる考えがあるそうです。

また、以前の黒板と違い、児童も電子黒板に興味を示し、顔を上げ、前を見るようになったそうです。委員会としましても電子黒板の導入は、大変良かったと実感しています。

連携を充実し手厚い支援を

地域包括支援センターの事業として、介護予防のため日常生活の支援、福祉の増進を包括的に支援する事業を行い、任意に見守り配食サービス、緊急通報装置、おむつ券の給付事業を行っているそうです。また、総合相談件数が年間1,000件を超え、今年度も9月末までに約460件の相談があつているようです。

委員から、居宅事業所との連携がうまくとれていないこと、要支援者に対するケアプランについて質疑があり、担当課として、指導できるものは指導・改善し、ケアプランについても手厚くなるようプランナーと相談しながら進めていきたいとのことでした。

また、町内の各事業所での避難訓練等が実施できていないようですので、担当課、防災・減災担当課と地域包括支援センター、ケアマネージャーが連携し、避難行動マニュアルの作成や高齢者の避難行動の促進に向けた取り組みを確実に実施してほしいと要望しました。



◀授業風景 視聴

愛光園に関する調査として現地視察を予定していましたが、コロナ禍の状況から視察は中止し、新型コロナウイルス対策に今後どう対応していくのか、報告をお願いしました。



建設産業常任委員会

農作業受託事業で安定経営を目指す

出資団体の調査として、株式会社川崎アグリの現状や今後について確認をしました。これまでは作業受託事業、餅・総菜の製造、アップルクーヘン・アップルバター等の製造の3つの事業を行ってききましたが、赤字続きだった総菜の製造は中止に、アップルクーヘン等の製造はすみれアクティブセンターへ委託しました。

これからは作業受託事業で経営の安定化を図り、農家のニーズに合った事業展開を検討していくとのことです。

岐阜県白川村、飛騨市で 移住・交流人口の取り組みを学ぶ

白川村では「移住交流窓口」について研修してきました。元地域おこし協力隊で白川村に移住された方が設立した一般社団法人に業務の全般を委託しています。白川村は豪雪地帯であることや世界遺産の白川郷を有しているため、移住するにあたっての注意事項が他地域よりも多くあります。そのため、役場職員や先住者と移住希望者をつなぐ第三者機関が相談対応や移住後のフォローアップに向いているとのことでした。



▲白川村での研修

飛騨市では「ファンクラブ事業」について研修してきました。飛騨市に興味関心のある方、つまりファンの方にファンクラブ会員になってもらい飛騨市に足を運んでもらったりイベントに参加してもらったり取り組みで会員側もいろいろなサービスが受けられます。

また、派生事業として飛騨市内にある困りごとを市民や事業者が登録し、その困りごと解決に協力してくれる方とのマッチングの支援をする「ヒダスケ!」という事業も行っています。居住人口が減っても地域に協力してくれる関係人口が多くいることで、地域活動の活性化を失わず、現在居住されている方がその地域に住み続けていくことのできるまちづくり事業であると感じました。



▲飛騨市での研修

香春町で半農半Xを勉強

半農半Xとは農業を営みながら自分のやりたいこと、やりがいのある仕事に携わるライフスタイルのことで、そのきっかけづくりになるようなイベントを多く行って行っていました。イベントの講師には町内在住の地域おこし協力隊OBや移住者、認定農業者がなったださっているそうです。興味を引くイベントづくりが上手で、取り組んでいる地域おこし協力隊の方や担当者が楽しみながら事業をしていることが感じられました。



▲香春町での研修

令和4年度 第5回川崎町議会(10月会議) 議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果										
			中山	北代	手嶋	川根	手嶋	松田	繁永	見月	寺田	千葉	原
条例	集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正	西田原集会所の移転に伴い、条例内の集会所住所を変更するもの	(可決) 簡易表決										
予補算正	一般会計	P4を参照	(可決) 簡易表決										

令和4年度 第6回川崎町議会(12月定例会議) 議案一覧と賛否結果

区分	案件	内容	賛否の結果										
			中山	北代	手嶋	川根	手嶋	松田	繁永	見月	寺田	千葉	原
報告	専決処分(工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更(機械設備工事))	追加工事により契約金額の変更をするもの	報告のため採決はありませんでした										
	専決処分(工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更(建築主体工事))	資材費高騰により契約金額の変更をするもの	報告のため採決はありませんでした										
	令和3年度町立病院業務実績結果報告書	P5を参照	報告のため採決はありませんでした										
任命	教育委員会委員の任命	任期満了に伴い、尾田 延弘 氏の再任の同意を求めるもの	(同意) 簡易表決										
条例の一部改正	町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に伴い条例内の金額を変更するもの	(可決) 簡易表決										
	町職員の定年等に関する条例の一部改正	職員の定年の引き上げ等、条例内容を一部改正するもの	(可決) 簡易表決										
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例に関する条例	地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例を整備するもの	(可決) 簡易表決										
	印鑑条例の一部改正	P4を参照	(可決) 簡易表決										
	手数料徴収条例の一部改正	P4を参照	(可決) 簡易表決										
	奨学金給付条例の一部改正	P4を参照	(可決) 簡易表決										
補正予算	一般会計	P4を参照	(可決) 簡易表決										
	特別会計(国保)	P4を参照	(可決) 簡易表決										
請願	核兵器禁止条約の締結を求める意見書採択	政府に対し、核兵器禁止条約の締結を求める意見書を提出すること	継続審査										

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

議会日誌

10月	11月	12月
第5回川崎町議会(10月会議)	22日 議会広報研修	第6回川崎町議会(12月定例会議)
17日 議会運営委員会	29日 議会運営委員会	6日 本会議・全員協議会
19日 本会議	常任委員会	7日 委員会(総務・民生・建産)
常任委員会	2日・7日・28日 建設産業常任委員会	8日 議会運営委員会
4日 総務常任委員会	10日・28日 民生文教常任委員会	9日 本会議
建設産業常任委員会	24日 総務常任委員会	広報広聴常任委員会
5日・12日・19日 広報広聴常任委員会		予算決算常任委員会(補正)
13日 民生文教常任委員会		総務常任委員会
25日~27日 総務常任委員会行政視察		14日 本会議(一般質問)
26日~28日 建設産業常任委員会行政視察		15日 本会議(最終日)

今回の
主人公



週2、3回利用
お風呂に来るのを楽しみにしている。
満足してます。
スタッフのみなさんにもよくしてもらってます。

西新町
きたしろ たけみ
北代 武見 さん (利用歴15、6年!)

追跡レポート

みなさん、お持ちですか?
マイナンバーカード

川崎町の対象者数は、15,893人 (令和4年1月1日現在)

令和4年 12月31日現在の 状況	申請者数… 9,636人	60.63%
	交付率…… 9,243人	55.77%



申請については、
役場・住民課
窓口まで

本町独自の政策として
令和5年3月31日までに申請の方
マイナンバーカード取得者に、**2,000円分のQUOカード配布**



議会の傍聴においでください
次回定例会予定

- ◎3月 7日…本会議(初日)
- ◎3月17日…本会議(一般質問)
- ◎3月10日…本会議(中日)
- ◎3月20日…本会議(最終日)

編集 後記



新しい年のスタートです。あけましておめでとうございます。今年も議会だよりのご愛読よろしくお願ひ申し上げます。幸せとを感じる時は人それぞれの尺度によるものだと思いますが、四つが合わさって四合わせ(幸せ) 1. 人から愛される、2. 人の役に立つ、3. 人から褒められる、4. 人から必要とされる、この言葉はまさに幸せそのものです。サッカーの森保監督は就任会見で同じことを言われていました。愛され、役に立ち、褒められ、そして自分を必要としてくれる。それこそ「幸せ」だと。みなさんはどう思われますか。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
大谷	松田	手嶋	繁永	手嶋	中山	櫻井	
春	孝	康	英	真	信	英	
清	行	徳	樹	美	和	夫	